

## 平成20年度高砂市次世代育成支援行動計画の報告

### ○特徴的な成果

項 目	内 容
1. 子育て家庭への支援	従来まで使用していた「たかさご子育てお助けマップ」を刷新し、新たに「たかさご子育てすこやかガイド」を作成、発行した。
	市内8地区の民生委員会において、保育園・幼稚園・小学校・中学校の代表者が出席し、児童虐待防止についての研修会を実施した。
2. 子育て支援のコミュニティ整備	スポーツを通じて三世代の交流、ふれあいを深める「ふれあいスポーツ大会」を開催した。
	各小学校区の安全マップ集を更新し、PTAの方や地域の団体と協力して子どもの見守り活動を実施した。
3. 就労と子育ての両立支援	父親向け育児教室として、高砂市民病院の助産師による「パパママ育児レッスン」を開催した。
	きくなみ保育園の民間移管を行い、4月より「真浄寺きくなみ保育園」として開園した。
	学童保育所の環境整備として、米田・米田西学童保育所をそれぞれ2つに分割し、環境の整備を行った。
4. 健全育成に向けた教育の充実	米田小学校の耐震補強工事、伊保、荒井幼稚園を除く8幼稚園及び宝殿中学校南棟の耐震診断を行った。
	老朽化に伴う阿弥陀小学校の移転改築に向け、移転用地の取得を行い造成工事を実施している。
	「放課後こども教室」の開催や、「すこやかアップカレンダー」の作成・発行を行った。
5. 地域での生活環境の整備	沖浜・平津線（小松原工区）、米田79号線、神鋼前道路の道路改良により、歩行空間の整備を行った。
6. 安心して生み育てることのできる環境の整備	妊婦健診にかかる費用について、制度改正により1回4,000円を上限に5回助成を行った。
	事故防止の健康教育と「子どもの救急対応ガイドブック」の配布により、急病時の対応を啓発した。